



第365号 2017年2月 名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

### 名古屋教区「新成人を祝う新年の集い」2017 「自らに責任を持ち、キリスト者としての道を歩むことが出来ますように」

名古屋地区でも積雪5センチを記録し銀世界となった1月15日、「新成人を祝う新年の集い」のミサとパーティーがカテドラル布池教会で行われた。雪で足もとが悪い中、約350人が参列した。信徒協から教区に主催が変わり、新成人を祝うという狙いも名称に明確になった「集い」に、膳棚、東山、安城から各2人、五反城、南山、港、守山、小牧、瀬戸、美濃加茂、金沢から各1人、計14人の新成人が出席した。



新成人の祝いで記念撮影

松浦司教はミサの説教で、「私たちは実は、この日本の社会の一員である前に、神様の国のメンバーの一員なのです」と述べ、イエスの弟子としての役割があることを確認した。日本で成人式が行われるこの頃、典礼においてはイエスの洗礼を祝っているが、司教は「イエスの洗礼はイエスの成人式と言ってもいい」と言い、イエスは人々の前に出て公に語り、公に行動するとうい使命を始める前に二つのことをしたと続けた。一つはヨハネから洗礼を受けたこと。もう一つは荒野で40



演奏する松浦兄弟バンド・ビートルズmini

松浦司教の兄弟バンド「ビートルズmini」がビートルズのヒット曲を次々と軽快に演奏し、会場を大いに盛り上げた。最後に、ステージに新成人たちも加わり、SMAAPのヒット曲「世界に一つだけの花」と「アイメン・ハレルヤ」を皆で大合唱し、喜びと感謝のうちに祝賀会の幕が閉じられた。

2月11日 世界病者の日 病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように。教皇メッセージはカトリック中央協議会HPで。

3月1日 灰の水曜日(大齋・小齋) 大齋・小齋について 大齋は1日に1回だけの十分な食事とそのほかに朝ともう一回わずかな食事をとることが出来ます。小齋は肉類を食べないことですが、各自の判断で慣いの他の形式、とくに愛徳のわざ、信心行、節制のわざの実行をもって代えることが出来ます。



イブマイ青春で合唱する聖霊生徒の皆さん

聖霊中学校・高等学校の女子生徒約600人によるクリスマスキャロルの合唱と演奏「Ivemy青春」が12月24日、名古屋栄・セントラルパークもちの木広場で開催された。指揮は高橋律也先生と松本芳枝先生。「きよしこの夜」「諸人こぞりて」「牧人ひつじを」など、有名なクリスマスキャロルを披露。会場を埋め尽くした聴衆も共に歌い会場が和みに満ちた。

南山大学で教授を務めた作曲家山本直忠さんの「平和のための祈り」を初め全17曲が歌い上げられた。演奏の途中で生徒の代表が、世界でテロが続く



クリスマスキャロルを歌う生徒の皆さん

南山大学附属小学校聖歌隊のクリスマス・コンサート。2、3年生が「赤鼻のトナカイ」などクリスマスソングを歌った。また4、6年生はラテン語による「カンターテ・ドミノ」「アメージング・グレース」、三部合唱による難しいカッチーニ作曲の「アベ・マリア」など、全9曲を歌い上げた。クリスマス・マーケットに来ていた家族づれもステージ前で立ち止まり、聖歌隊の歌に聴き入っていた。

2017年名古屋教区 司教叙階記念 司祭叙階、奉献生活誓願者の 金銀祝及び助祭叙階式 日時 3月20日(月・祝) 14:00~17:00 場所 カトリック布池教会及び地下ホール 内容 14:00 叙階記念ミサ及び助祭叙階式 15:40から地下ホールで茶話会 会費 無料 主催 カトリック名古屋教区

名古屋教区終身助祭の叙階式のご案内 日時 3月20日(月・祝) 14:00 司教叙階・司祭叙階・奉献生活誓願者の金銀祝のミサの中で行われます。 会場 カトリック布池教会 司式 ミカエル松浦悟郎司教 受階者 早川和彦氏

ユスト高山右近列福記念感謝ミサ 日時 2月9日(木) 10:30 場所 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54 ☎076-264-2536 司式 教皇代理・教皇庁列聖省長官アンジェロ・アマート枢機卿、および参加司教、司祭

名古屋教区女子修道会・在俗会連盟主催 高山右近列福記念講演会 「ユスト高山右近という生き方 ―その霊性と日本の教会―」 日時 2月11日(土・祝) 14:00~16:00 場所 カトリック布池教会地下ホール 講師 古巣 馨神父(長崎教区) 入場 無料 主催 名古屋教区女子修道会・在俗会連盟

第45回典礼研修会のご案内 「生きた祈りへの招き」 ~ゴロー司教の典礼アイデア集から~ 日時 2月11日(土・祝) 13:00(12:30受付) 16:00 終了予定 場所 南山教会マリア館 地下鉄鶴舞線「杖中(いりなか)」駅 下車2番出口 徒歩5分 講師 松浦悟郎司教 参加費 無料 問合せ 典礼委員会事務局 ☎052-831-9131 (ケレハ神父) Fax 052-804-8878 申込み 準備の都合上、小教区に配布済の申込書に記入の上FAXまたは、ホームページから申し込み下さい。 1月28日締切。 主催 名古屋教区典礼委員

教区ホームページ 福音のひびき 2月の説教者 5日 年間第5主日 太田 実 (名古屋教区) 12日 年間第6主日 フランシス・モルク (半田教会) 19日 年間第7主日 北村 雅彦 (聖心教会) 26日 年間第8主日 レイナルド・ティボン (大垣教会)

日本カトリック司教団は、臨時司教総会の中で2016年12月14日、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたってのメッセージを発表しました。名古屋教区の信者の皆さん、ぜひお読みください。

教区司教 松浦悟郎

### 日本カトリック司教団メッセージ

### 「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたって

### に

日本のカトリック信者の皆様へ

全世界の司教団に向けて、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるように通達され、日本ではこの日を「四旬節・第二金曜日」にいたします。

第一回目は、2017年3月17日(金)になり、司教団としては、被害者の痛みを学ぶ機会を作ってください。お祈りをお願いします。

2002年、米国のボストンで聖職者による子どもへの性虐待事件が報道され、世界各地で同様の事件が明るみに出ることになりました。

教皇フランシスコは、教皇庁に新しく「児童を守るための委員会」を設立し、教皇自らがこの問題に真剣に取り組む姿勢を示されると同時に、全世界の教会がこの問題に真摯に向き合うよう促しておられます。そして全世界の司教協議会に対して、子どもに対する教会のメンバーの責任について明確に意識できるように、神により頼む日として、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設定するよう指示されました。

教皇の意向は、以下の諸点に要約されます。

1. 教会のメンバーによって、また家庭や教育現場において行われた、子どもへの性虐待の罪について、神からのゆるしを願うこと。
2. これらの重大な犯罪が、教会のメンバーによって行われたことを公に認めること。
3. 教会の権威者たちが、虐待の加害者を秘匿した罪について、神のゆるしを願うこと。
4. 被害者のケアをする責任は、教会のメンバーとしてすべての人におよぶことを、皆が認識できるように恵みを願うこと。
5. 被害者とその家族のために神のいやしと支えを願う、教会がその人々の内的いやしと和解の歩みに有効に寄り添うことができるよう祈ること。
6. 虐待の被害者から何らかの反応があった場合、特別な司教的な配慮をもってすぐに応えるようにすること。

2002年6月には、「子どもへの性的虐待に関する司教メッセージ」を発表しました。そこでは、「性虐待は、無防備な子どものからだ、たましいに傷を負わせる恐ろしい犯罪であること、日本でも不幸にして聖職者、修道者による性虐待があったことが判明したこと、司教団として十分な責任を果たして来なかったことを反省し、被害者の方々に誠実に対応するとともに、加害者である聖職者、修道者に

は厳正に対処すること、子どもの人権擁護のための活動、またかれらの育成に携わる学校・施設で働く者、および聖職者、修道者の養成に力を注ぐこと、このような事件が起こらないように自らを正し、教会の刷新に励んでいくこと」を表明しました。

続けて、2003年2月に司教の対応ガイドラインを発表するとともに、カトリック中央協議会に「子どもと女性の権利擁護のためのデスク」を設置し、具体的な取り組みと啓発活動を推進しました。また、2013年2月には司教の対応ガイドラインの補足として、「教会が子どもの権利を守るために、聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのマニュアル」も発表しました。

今後も、被害者の方が声をあげたときに、各教区として問題解決をはかるための体制を整えるとともに、聖職者と神学生の意識を喚起するために養成を徹底し、教会のメンバーの意識化のために啓発を行っていきたいと思います。

終わりに  
みなさん、すべてのキリスト者とともに、傷ついた被害者の方々の悲しみと苦しみを理解し、彼らのいやしと回復のために、いっしょに深い神に祈り、また、全世界の教会がこの困難な状況を乗り越えるために、神からの恵みと力づけを祈りましょう。わたしたち日本の司教は、聖職者、修道者、信徒のみならずとも、日本においてこのようなことが起こらないよう、重ねて自らを正し、教会の刷新に励んでいきたいと思いをします。

2016年12月14日  
日本カトリック司教団

### 聖霊病院秋の聖書週間

中川博道司祭(カルメル会)が「神のいっしょくしみに支えられて」を講演

教会の命を支える柱は、いっしょくしみ



中川博道司祭(カルメル会)が講演。

在の本質が繰り広げられていく。また、アーノルド・トゥリミーの言葉から「教会は1世紀で1才歳をとっていく」と話されたところから、現在は21世紀、自覚を持ち、生きていくときとなる。振り返ってみても、例えば、ミサのたて方が、司祭が会衆に背を向けることから対面して挙行されることになったように、根本的な見直しを通して、新しくなっていくことである。わたしたち一人ひとりの人生の体験から思い返しても、20才は社会に出、悩みや失敗もし、学

生のころを思い出しながら「学生の頃はこんな苦労はなく、楽しかった。やる気があった」と思い返すように、今ある姿とあるべきかたちへの前向きな見直しにあると言える。

「教会の命を支える柱は、いっしょくしみ」それは、わたしたちの根源である神の「いっしょくしみ」そのものである。わたしたちは今、あらためて神の「いっしょくしみのみ顔」を探し求めている。この聖年に当たって一人ひとり、愛されている子どものように、ゆだねきって生き

ていく中に、イエスが見せてくれる、父である神のまなざし、いっしょくしみのみ顔に触れることができるのであろう。また、それを伝えていくことが出来るのであろう。

どんなに不完全で無力なわたしたちであっても「いっしょくしみのみ顔」に信頼をおき、ゆだね続けられていく中で、真実の「み顔」に心が開かれ、創造的に生きていく道が示される。こうして神の本質に届いていく教会となっていくことを願っています。

(カトリック社会事業室)

10月中旬、聖霊病院第79回秋の聖書週間では、カルメル会の中川博道司祭を招いて、講演会を開催した。テーマは「神のいっしょくしみに支えられて」であり、いっしょくしみの特別聖年にふさわしい

講演会に、多くの方々の参加があった。司祭は、冒頭より教会の本質を探し、新しい時代を迎えていくには、実質的な今を眺めることの大切さを語られた。教会の歴史は、その期に行

出、悩みや失敗もし、学

ていく中に、イエスが見せてくれる、父である神のまなざし、いっしょくしみのみ顔に触れることができるのであろう。また、それを伝えていくことが出来るのであろう。

なわたしたちであっても「いっしょくしみのみ顔」に信頼をおき、ゆだね続けられていく中で、真実の「み顔」に心が開かれ、創造的に生きていく道が示される。こうして神の本質に届いていく教会となっていくことを願っています。

ていく中に、イエスが見せてくれる、父である神のまなざし、いっしょくしみのみ顔に触れることができるのであろう。また、それを伝えていくことが出来るのであろう。

日本カトリック難民移住移動者委員会  
大阪管区セミナー  
「知っていますか？外国人技能実習生」

どなたでも、ご参加いただけます。外国人技能実習生について、一緒に学んでみませんか。

日時 2月25日(土) 13:00~16:30  
会場 カトリック城北橋教会  
名古屋北区金城1-1-57  
☎052-912-7123

講演 鳥井一平さん  
(移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事)

内容 講演、各教区からの事例報告、J-CaRM リフレット「外国人技能実習生Q & A」活用術、私たちにできること、みことばの祭儀

申し込み不要、参加費無料です  
主催 日本カトリック難民移住移動者委員会  
☎03-5632-4441

2017 世界祈祷日  
フィリピンからのメッセージ  
“わたしはあなたに不当なことをしているか?”

日時 3月3日(金) 時間は未定  
場所 日本聖公会名古屋聖マタイ教会  
名古屋市昭和区明月町2-53-1  
☎052-841-5779 Fax 052-841-5795  
交通 地下鉄『御器所』駅下車、徒歩5分

カトリック名古屋看護協会主催  
「松浦司教様と語り合う会」

日時 3月25日(土) 13:00~15:00  
場所 聖霊病院第3会議室 対象 看護師  
申込み 下記の電話にお願いします  
連絡先 聖霊病院カトリック事業部 ☎052-832-1181  
担当者 シスター三根久子  
申込締切 3月18日(土)

東日本大震災復興祈念チャリティー讃歌唱  
(教会コンサート)  
~あの日を私も忘れない~

日時 3月11日(土) 15:00~18:30  
場所 カトリック刈谷教会 刈谷市東陽町4-37  
曲名 第1部 15:00~16:30  
「アヴェ マリア」(シューベルト・グノー他)  
第2部 17:00~18:30  
「古典オペラに眠る神への讃歌」

出演 名古屋二期会員  
入場料 無料  
問合せ ☎090-2617-3518 (森本)  
主催 名古屋二期会イタリア歌曲研究会  
共催 カトリック刈谷教会

新しい年、分裂の世界に一致を!

【聖パウロ書院からのご案内】

近刊紹介！

「キリスト教とは何か⑦ 殉教とくろびを越えて」

粕谷甲一神父 講話集 定価1,270円



今の日本では信仰者への拷問も、迫害もないが、棄教に追いやるような風潮は強く、昔とは違うかたちで教会は迫害を受けている。現代の迫害とは？殉教者とは？

「キリストへの道」

岩島忠彦著 定価1,512円



晩年を前にして、神学博士としての深い知識をもとに、修道司祭として司牧、教育、信徒の養成にたずさわりながら長年キリストへの道を歩いている著者が、すべての人々に励ましと愛をこめて綴る随想と説教と講話集。親しみやすく、分かりやすく、現実に立って、キリスト教の核心と人生の確かな道を示す1冊！キリスト信者にもキリスト教に関心のある人にも人生の指標となる本です。

第30回 教区四旬節黙想会 -障害をもつ人々と共に-

難しく思える聖書の「みことば」を、みんなで分かちあって、「あーそう言うことだったの」と神様からのラブレター(聖書)を味わってませんか？今年も四旬節黙想会を下記のように計画しています。尚、黙想会前に2017年度カ障連の総会が行われます。

- 日時 3月4日(土) 12:00 ~ 5日(日) 15:00
場所 南山学園研修センター
〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 ☎052-837-6466
地下鉄鶴舞線「中(いりなか)」駅下車2番出口 徒歩10分
指導司祭 山野聖嗣 神父(アウグスチノ会、港教会助任 カトリック社会福祉委員会委員長、カトリック名古屋教区障害者連絡会協力司祭)
テーマ 一神のみわざ「彼が盲人なのは、誰のせいですか…。神のみわざがこの人の上に現れるためです」(ヨハネ9:1)
参加費 9,000円(1泊3食)、3,000円(日帰り、1食付き)
参加費は当日徴収。2月24日(金)以降のキャンセルは実費支払い。
申込先 カトリック名古屋教区障害者連絡会
〒466-0037 昭和区恵方町2-15 社会福祉委員会気付
FAX 052-852-1422
※申し込みは小教区に配布済みの申込用紙にご記入の上、FAXか郵送をお願いします。(電話は受け付けていません)
申込締切 2月10日(消印有効)
共催 カトリック名古屋教区社会福祉委員会、カトリック名古屋教区障害者連絡会



橋詰四郎さんの戦争体験の総集編「戦争とはどのようなものだったのか！」

橋詰四郎さん(91歳)の戦争体験の総集編「戦争とはどのようなものだったのか！」が、橋詰さんの話をもとに、戦争体験の総集編「かくす戦争、教えない戦争」と題しての講演会が12月3日、愛知県豊明市商工会館市民活動室で行われ、32人が耳を傾けた。構成・演出は水野晴仁さん(愛知県日進市の教員)が担当した。主催は「とよあけ9条の会」。

はじめに「とよあけ9条の会」世話人の一人、近藤弘子さん(真宗大谷派正福寺前坊守)のあいさつがあった。続いて、講演に入り、今回の総集編では水野さんが食事の時のラッパや消灯ラッパなどを実演して聞かせた。またこのラッパのメロディーに合わせて橋詰さんが歌を披露する場面もあり、参加者は目を閉じて静かに聞いていた。

橋詰さんは19歳で徴兵された「最後の皇軍」。ソ連軍と8月15日の終戦も知られずに満州で戦っていたが、その後捕虜となり厳しい環境の下で生き残ってきた。

布池教会は名古屋市の中心部にあるため、毎年クリスマスにはたくさんの方々が訪れてくださいます。ミサの時間は、24日20時、22時、24時、25日7時、9時30分、18時。24日の20時のミサは特に人出が多く、いつも満席の上、後ろにもあふれんばかりの人です。この機会に少しでも多くの方にキリスト教のこと、教会のことに興味を持っていただくとうと、クリスマス専用式次第と神父様のメッセージやクリスマス豆知識などを盛り込んだチラシを用意して配っています。



日曜学校の生徒によるオペレッタ聖劇の一場面

24日20時のミサ前に、毎年クリスマスキャロルを披露していましたが、今年初めて試みで、日曜学校の生徒によるオペレッタ聖劇が行われました。9月から準備を始め、高学年の子供達を中心に、幼児クラスの子たちも加わり、一生懸命練習を重ねてきました。その成果もあり、20時のミサを待つ皆さんの方々に楽しんでいただけたと思います。

布池教会のクリスマスは、多くの奉仕で成り立っています。例えば、信者会館のガラス一面に作られる馬小屋は、NF

CC(フィリピンG)の方々が毎年違う趣向を凝らしたディスプレイで、どんなものが出来上がるのか楽しみの一つになっています。

他にも小学生から青年まで十数名いる侍者(イブにお泊まり会をしながら全ミサの侍者をフォローします)、ミサの案内係、献金係、聖歌隊、食事係、駐車場係など。また、典礼委員、役員は6台のインカムを駆使し常に連絡を取り合い、ミサの進行、急病人などのトラブルに対応しています。ミサにじっくりあずかることもない慌ただしさですが、私達奉仕者にとって、イエス様をお迎えすると同様、たくさんの方々の支え合う喜びにあふれたクリスマスです。(布池教会広報委員会 田原)

東日本大震災・福島原発事故 犠牲者追悼・復興祈願の日
日時 3月11日(土)
場所 カトリック布池教会大聖堂
主催 カトリック名古屋教区
プログラム
13:00~13:50 (地下ホール)
被災地パネル展示、被災地支援物品販売
14:00~ (大聖堂)
講話 「フクシマの今から、福音の真摯さへ」
~環境・社会福音化に向かって~
狩浦正義神父(名古屋教区司祭)
14:46 黙祷、司教ミサ
聖歌隊: 南山大学スコラ・カントールム
手話通訳、要約筆記もあります。
ミサ後~17:00 (地下ホール)
被災地パネル展示、被災地支援物品販売
ノベナの祈り
3月2日(木)~10日(金)の期間、毎日各自・グループでロザリオ一連と「東日本大震災被災者のための祈りII」を唱えましょう。そして、期間中一食の断食とミサ献金を捧げましょう。
問合せ: 連絡先
福信館気付け、実行委員会事務局・社会福音化推進部
☎052-935-7180 FAX 052-935-7195

アジアン・ユース・デー (AYD) 7、インドネシア
2017年7月30日~8月6日
AYDはアジア約28カ国のカトリック教会青年代表およそ2,000人が集い、ホスト国の文化・社会と教会の福音的な取り組みに触れながら、典礼、体験学習、ホームステイ、文化交流、自国紹介など、8日間共に祈り、共に学びます。信仰を生きるアジアの仲間と出会い、お互いの連帯と信仰を深めるアジアの青年大会です。第7回目となる今回はインドネシア・ジョグジャカルタ市(Jogjakarta)で開かれ、日本から50名の青年が招かれています。さまざまなプログラムを通して、テーマ「Joyful Asian Youth! Living the Gospel in Multicultural Asia アジアの若者よ、多様性あふれたアジアの文化の中で、福音を喜んで生きなさい!」を深めていきます。
開催地 インドネシア・ジョグジャカルタ市
対象 18~35才(大学生以上)(多少の英語力は必要です)
募集人数 50人
費用 参加費(およそ25,000円)+ 旅費(インドネシアまでの往復旅費は自己負担です)
申込書 1月以降、こちらからダウンロードできるようになります。申込書に必要事項をご記入の上、gensec@cbcj.catholic.jp までお送りください。
締切り 2月末(変更の可能性あり)
問合せ カトリック中央協議会 青少年司牧部門
☎03-5632-4480 FAX 5632-4465
Email gensec@cbcj.catholic.jp

2月7日列福式、インターネットで生中継
2月7日(火)、大阪城ホールで開催されるユースト高山右近の列福式ミサの模様を、インターネットで生中継します。視聴は無料、手続きなども不要です。放送時間は11:30~15:00(式典は正午開始)。以下のYouTubeサイトからアクセスしてください。
www.youtube.com/watch?v=d96PSEkMqHo
なお、列福式のミサの模様は、式後も、いつでも視聴できます。

名古屋オルガンの秋プレゼント
パイプオルガン・ランチコンサート
「バレンタイン・リクエストコンサート Part 4」
日時 2月13日(月) 10:30~11:30
場所 愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料 1,000円(全自由席)
Org 吉田 文
曲目 ホルスト「惑星」から木星、パッヘルベルのカノン 他

—あらゆる壁を越える教会をめざす中で—



**教区行事予定** (\*松浦司教)

2月

4日(土) 殉教者祭(栄國寺) \*  
平針教会聖信式 \* / 宣教司  
牧評議会 \*

5日(日) 高山右近列福式(大阪城  
ホール)

7日(火) 社会福祉委員会  
9日(木) 司祭月集 / 高山右近列福感

11日(土) 謝ミサ(金沢教会) \*  
12日(日) 樹の会  
14日(火) 樹の会  
15日(水) 司祭評議会 \*  
16日(木) 正義と平和学習会 / 信徒協  
18日(土) 研究會 / 共助連絡会地区研  
19日(日) 南山教会聖信式 \* / 城南B  
会議 / 愛岐B会議 / カナの  
会委員会 / 青年委員会  
25日(土) 典礼委員会 / 難民移住移動  
者委員会 / 大阪管区セミ  
ナー / カトリック看護協会  
小松教会司教訪問 \* / 北陸  
ブロック司祭会議 \*

3月

3日(金) 世界祈祷日  
4日(土) 濃尾B会議 / 教区障害者の  
黙想会(5日)  
8日(水) 東日本大震災犠牲者追悼  
11日(土) 復興祈願の日 \*  
12日(日) 三河B会議 / 教会学校教師  
会  
14日(火) 樹の会 / 難民移住移動者委  
員会  
19日(日) 城北B会議 / 城東B会議 /  
青年委員会  
20日(月) 祝終身助祭叙階式 / 司祭・修  
道者金銀祝の祝い \*  
21日(火) 名古屋教区司教座聖堂  
記念日  
23日(木) 司祭月集 \* / 教区顧問会 \*  
25日(土) 教区法人評議会 \* / 青年委  
員会 WYD名古屋(26  
日) / レジオアチエス / カ  
トリック看護協会  
27日(日) 29日(水) 教区中高生会春の  
フォーラム \*

**教区行事以外の松浦司教予定**

2月

2日(木) 常任司教委員会  
7日(火) 高山右近列福式  
8日(水) 高山右近列福感謝ミサ(大  
阪カテドラル)  
14日(火) 難民移住移動者委員会  
20日(月) 24日(金) 司教総会  
25日(土) 大阪教区管区難民移住移動  
者委員会研修会

3月

9日(木) 司教常任委員会  
13日(月) 難民移住移動者委員会  
16日(木) 南山中学講演会  
18日(土) 神言会叙階式  
21日(火) 南山学園評議員会

**告知板**

司祭人事  
名古屋教区(16年11月28日付) 布池  
教会協力 狩浦正義神父(仙台教区・  
原町教会)  
神言修道会日本管区(1月1日付)  
新管区長 ジュブロー・エウゲニウ  
ス神父(長崎・西町教会)

女子修道会の撤退  
1975年から41年にわたって教  
区で働かれた韓国殉教者修女会  
が、日本での役割を終え、韓国に  
戻りました。

・鳴海みその園、鳴海聖園天使園な  
どの事業の運営母体となっていた  
聖心の布教姉妹会は2016年度  
をもって事業から撤退し、名古屋

**建設費の返済に協力を**

559件 28,251,695円  
目標額 40,000,000円(12月末)

達成率 約70.6%

郵便振替 00810-5-50605  
加入者名 カトリック名古屋教区  
通信欄に「福音館建設」と必ず  
ご記入ください。

**聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ**

**「ロザリオの祈り」**  
日時 毎月第2日曜日 午後2時から。  
2月12日(日)、3月12日(日)

**「読書会」**  
日時 毎月第3土曜日 午後2時~3時30分  
2月18日(土)、3月18日(土)

場所 いずれも聖パウロ書院  
対象者 どなたでも参加できます。  
問合せ ☎052-936-4443 担当・Sr 永峰、Sr 森

**ユスト高山右近列福記念ワイン**  
新発売

2月7日のユスト高山右近列福を記念して、AJU 自立の家小牧ワイナリーより列福記念ワインが新登場します。赤・白各2,000円。期間限定で復活祭まで。なお売り上げ1本につき200円が高山右近の列福・列聖のために献金されます。

問合せご注文は、社会福祉法人 AJU 自立の家・小牧ワイナリーまで。  
☎0568-79-3001 FAX 0568-79-3002  
E-mail: komakiwinery@aju-cil.com

教区での働きを終えました。施設はこれまで通り、カトリック施設として継続されます。

福音館便り ☎052(935)7180

◇2月の炊き出し 木2日(東山、9日一宮、16日布池、23日城北橋、金3日喜望の会、10日布池、17日恵方町、24日長浦

**神言会多治見修道院・黙想会**

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

指導は及川神父、対象は信徒です。

2月18日(土) 10:00~19日(日) 16:00  
イエスは言われた「あなた方は蛇のように陰く、鳩のように素直になりなさい」と(マタイ10の16)

3月11日(土) 10:00~12日(日) 16:00  
イエスは言われた「私に従いなさい」と(マタイ9の9)

4月15日(土) 10:00~16日(日) 16:00  
イエスは言われた「私を信じる者は、渴くことがない」と(ヨハネ6の37)

※申込み方法、宿泊費、食事、謝礼などは多治見修道院研修センターにお尋ねください。☎0572-22-2038、携帯090-7696-8089、Fax 0572-22-2076。多治見研修センターの営業時間は午前9時~午後4時半まで。

**《2017年 名古屋一日静修》**

三位一体の聖エリザベトの祈り 一現代人へのメッセージ

日時、講師及びテーマは下記の通り。10時~16時。

3月20日(月・祝) 古川利雅神父「いのちの泉であるお方とともに」  
5月20日(土) 須沢おかり氏「わたしは、光へ、愛へ、命へ行きます」  
7月17日(月・祝) 松田浩一神父「父と子と聖霊の唯一の神を信じて生きる—三位一体のエリザベトと共に—」  
9月23日(土・祝) 片山はるひ氏「エリザベトと共に生きる—永遠の光のもとで—」  
11月25日(土) Sr. ポーリン・フェルナンデス「三位一体のエリザベトによる『聖書に基づくキリスト中心の生活』」

場所 カトリック日比野教会 信徒会館(地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)  
参加費 1,000円 持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当  
内容 講話、念珠、赦しの秘跡または面接、ミサ、茶話会 など  
申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。  
FAX / 0568-62-5167 E-mail / seisyuu\_2015@yahoo.co.jp  
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26「名古屋一日静修」係り  
跣足カルメル修道会主催、カルメル在世会協賛

**東日本大震災・災害支援金の報告** 社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。  
暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

項目	2011.3.17 発災から 2016.11.30までの合計		2011.3.17 発災から 2016.12.31までの合計	
		単月明細 12/1~12/31		
収入				
支援金総額	25,948,481	(※2) 0	25,948,481	
(※1) チャリティーワイン販売	894,160	0	894,160	
収入合計	26,842,641	0	26,842,641	
支出				
カリタスジャパンへ	9,544,038	0	9,544,038	
さいたま教区	1,000,000	0	1,000,000	
オールジャパン会議交通費	123,620	0	123,620	
大船渡プロジェクト支援	13,156,234	0	13,156,234	
ベースへ車いす4台贈呈	123,200	0	123,200	
ベースへピアノ贈呈	58,800	0	58,800	
支援ボランティア交通費	471,150	0	471,150	
支出合計	24,477,042	0	24,477,042	
単月・支援金残高	2,365,599	0	2,365,599	
支援金残高合計			2,365,599	

(※1) チャリティーワインとは  
司教着座記念ラベルワインと3.11東北震災支援ワインを販売。  
1本2000円で販売し内500円が災害支援金となりました。  
ご協力ありがとうございました。(販売終了致しました)

(※2) 12月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称)  
12月の支援金振込はありませんでした (合計) 0円

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」と大阪教区管区として2016年10月から新たに「カリタス米川ベース」を応援しています。

★支援金振込先 郵便振替用紙にて  
口座番号 00880-6-1628  
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会  
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

ご連絡・問合せ先  
社会福祉委員会  
電話 052-852-1426  
FAX 052-852-1422